

まつうら 市議会だより

第19号

平成23年2月1日

編集・発行

市議会だより編集委員会

電話 (0956)72-0264



松浦市消防出初式 市中分列行進（1月7日）

第4回 乳幼児の医療費助成に現物給付方式を 定例会 導入する一部改正条例を可決

平成22年第4回定例会を、12月3日(金)から16日(木)までの14日間の日程で開きました。

今回の定例会では、子ども医療費助成に関する条例の一部改正など条例12件、平成22年度一般会計補正予算など予算12件、その他の議案6件の合計30議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、平成21年度の各会計決算認定15件、同意案1件についてそれぞれ認定・同意し、請願1件を採択するとともに関連する意見書1件を可決いたしました。

会期日程

12月
3日(金)

本会議

開会、会期の決定、議長の報告、市長の市政概況報告、監査報告、常任委員会の行政調査報告・所管事務調査報告、決算審査特別委員会の審査報告・採決、特別委員会の中間報告、議案の上程・説明・審議（主管委員会付託）、陳情の受理報告

4日(土)・5日(日)
6日(月)・7日(火)

休
本会議

一般質問

8日(水)
9日(木)

休
本会議

一般質問

10日(金)
11日(土)・12日(日)
13日(月)・14日(火)

委員
休
委員
休
委員
休
本会議

委員長の報告・採決、専決処分の報告、議案の追加上程・説明・審議、議員提出議案の上程・説明・審議、閉会

15日(水)
16日(木)

休
本会議



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

一般質問



友田
議員

一、国土調査の進捗状況と今後の取り組みについて
二、中央診療所の公営を断念するまでの経過と今後の課題について

質問

一、(1)現在、国土調査が完了した地区は幾つあるのか。また、このペースで進めて完了はいつ頃になるのか。
(2)近隣との境界紛争を防ぐためにも早期の調査完了が望まれるが、関係予算が縮小されると完了が更に繰り延べになる。来年度以降、予算を縮小するようなことはないのか。
(3)西九州道のインター周辺や沿線地域は、将来的な企業誘致に備え、国土調査を済ませておく必要がある。今後どのように進めていくのか。
二、(1)3月議会で「公的医療機関として残す強い意志を持っている」と答弁された。この間、直営で残すためにどのような努力をしたのか。
(2)民営化のめどは立っているのか。
(3)受け皿が確保できるまでは、現状のまま存続するのか。
(4)無床診療所化しても単年度で6千万円の費用負担が必要と聞いたが、どのようなケースを想定したのか。
(5)市内には将来人工透析を必要とする方が潜在しており、市民の生命財産を守る行政の責務として、公が負担すべきという考え方もある。この点、市長はどのように考えるのか。

答弁

一、(1)字単位^{あざ}で、松浦地域は21年度末現在1千503字のうち341字が調査済み。完了までには、今後少なくとも30年以上は必要かと考えています。
(2)長期的な視野に立って安定的な財源を投入して、継続できるような対応を優先して考えていきたい。
(3)西九州道の予定路線周辺を基点としたところでの調査に積極的に取り組んでいきたいと思っています。
二、(1)まずは先生との信頼関係を構築して連携を強化していく努力をしました。現場の職員には存続に向けての努力をするよう指導し、庁内では経営サポート委員会を設置して対応しました。また、地元医師会の先生方とも、御支援、御協力もお願いし、話をさせて頂いたところです。
(2)まだ確たるめどは立っていません。
(3)対応がとれるまでは今の中央診療所という形で存続をしていきます。
(4)医師1名体制で、人工透析プラス内科外来のみとし、病床は無床化を前提として試算しております。
(5)市内で人工透析治療を受けられる形にせひとも整えたいということで、最大の努力をしているところです。

一般質問



山岡
議員

一、伊万里湾の再生について
二、フグ養殖及び漁船漁業の今後のあり方について

質問

一、伊万里港は、今年国直轄の重点港湾に指定されました。この伊万里湾には新松浦漁協が存続しておりますが、伊万里湾の海洋汚染、環境が大変悪化しており、過去にも鷹島地区に赤潮が発生して、養殖魚が全滅したという経緯がありました。今回、12月18日に3回目の伊万里湾及び周辺海域回復調査勉強会を予定されています。国及び長崎県、佐賀県の重要なメンバーを招いての、伊万里湾のヘドロ等に関する勉強会と思っております。伊万里湾が汚染されると、赤潮の発生する要因が十分にある訳です。この問題に対して市長の考えをお願いします。

二、(1)トラフグ養殖日本一の松浦市としての今後の養殖業及び漁船漁業、また水産業振興について、市長の見解をお示し下さい。
(2)トラフグ養殖業の日本全体の生産数量に長崎県が何割占めて、松浦市が県全体の何割を占めていますか。それと、市内トラフグ養殖業の年間売上げの推移はどうなっていますか。

答弁

一、伊万里湾については、漁場としてだけでなく、地域の活性化、あるいは自然環境の保全という面からとらえまして、大変貴重な、我々にとつて共有の財産であると思っておりますし、この伊万里湾の環境保全、水質あるいは漁場としての再生ということについては、重要な取り組みをしなければならぬと、そういう思いを持っています。

二、(1)この地域の漁業というのは引き続き基幹産業であるということの基本として、必要な施策については漁協、あるいは議会とも御相談しながら、漁業の振興、漁家所得の向上ということを基本として、今後いろいろな振興策を講じてまいりたいと思っています。
(2)トラフグの生産量は、平成20年度で国が約4千100トン、県が約2千500トンで61%です。市内は700トンで、県の28%に相当しております。
平成20年度経営体数は36で、生産額が約16億9千万円、平成21年度が経営体数35で、生産額が11億2千万円であります。

一般質問



板谷 議員

質問

- 一、マグロ国際拠点構想について
巨大タンク利用申し入れについて
二、養殖フグの今後の対策について

一、今回、松浦火電用の巨大タンクによるマグロの完全陸上養殖の考えについて、大企業より申し入れがあったが、松浦市にとっても久方ぶりの大型構想であり、ぜひ誘致できないのか。

松浦市にとっては、産学官による関連企業の雇用が見込まれ、観光の目玉となる。また、漁業の振興に貢献でき、フグ、マグロの高級食材のまちとなる。松浦市の未来を占う、地域にまさしく合致した構想であり経済効果は大であると思われる。

二、(1)我々は、平成16年に無毒化法の特許証を取っている。フグの消費拡大のためにも産地特区認可により肝の安全性を周知し、観光客に対しフグ、マグロのまちとしての位置付けができると思うが、どうお考えか。
(2)中国は国内のフグ食を禁止して置きながら、日本向けに生産し、輸出している現状である。国内のフグ業界は厳しく、輸入には問題点が多い。日本の水産基本法による輸入調整に鑑み、行政による解決策が必要と思われる。

答弁

一、工水タンクの活用というのは大変難しいけれども、ほかの対応がでないか、そのためにはどういう制度事業があるのか、実現に向かって何かないかということについては、県、あるいは庁内でもいろいろな検討を今も続けていまして、今後更に双日さんとの協議も必要ですが、一つずつ条件を満たしていく、解決をしていく形で何とか実現にこぎ着きたいという強い気持ちを現在も持っているところであります。

二、(1)既に漁協のほうで取っておられる特許がございまして、そういうものを足がかりといいますか、拠点所にして、ぜひとも一日も早い生産地の特区が得られるように、今後、一生懸命頑張っていきたい。
(2)せっかくある法律が機能していないといえますか、法律の役目を果たしていないということについて大変残念に思うところで、今後有効に機能するように我々としても努力していかなければならない、そのように思っています。

一般質問



久枝 議員

質問

- 一、志佐町浦免における水害対策について
二、400mトラックと軟式野球場の1年遅れる実施計画について

一、(1)浦川都市下水路に児童館側から排水の土管があるが、満潮の時の対策は何か考えられないか。

(2)浦川下水路の起点に、上高野の旧農協等の雨水や下水に対して、マンホールに穴を開けた。その時に担当の係員は「穴を大きく開けると雨水が多く流れ志佐の町が浸かるので、小さく開けます」とのこと、穴が開けられた経緯がある。現場を再調査する必要があると思うがどうか。
(3)大雨の時には流入をストップさせるといふ方向も考えて頂きたい。

二、(1)24年度の初期のうちにブルドーザーを入れるとなっていたのに、「市民運動公園整備事業」として、利便性向上と多様な種目に対応可能な規模へ見直すための設計業務に取り組みとして、25年度以降に工事着工予定となっている。議会での答弁は重いと思うが、市長はこの着工遅れの計画についてどう思われるか。
(2)設計業務を25年度に委託するのなら、26年度着工になるのではないかと。他に、運動公園テニス場における暴風ネット設置、松浦高校に対する受験生増強対策について質問した。

答弁

一、(1)現在の浦川とその排水管の構造上、これを改修するのはちょっと難しいかと思っています。そういう所もあわせて、全体的に排水の計画案をつくる必要があるということ、準備を進めています。

(2)当初の想定になかった流域が増えているということになりますので、今度の見直しの対象として計算をするべきじゃないかと考えています。
(3)浦川、それから蓮田川以外にも低地対策として水路をつくる必要があるれば、計画としてはそういう形もつくることがあるのではないかと。ということで、とにかく総合的に排水の計画をしようと考えています。

二、(1)このことは事業に着手するというところで、総合計画実施計画では24年度までに設計業務に取り組みことにいたしております。これまでお答えしたとおりでありまして、後退しているものではございません。
(2)私も、設計に入るということが事業着手というふうに言っておりまして、24年度にはぜひこの事業着手という形で取り組んでいきたいと思っております。

一般質問

金 内
議 員

質 問

一、現在は、温暖化の影響であるのかどうか、全国各地で記録的な集中豪雨や地すべりなど大きな被害が発生しております。市も緊急時の避難所として136力所の指定をなされておりますが、施設や場所に何の表示も看板の設置もなされていないのが現状であります。周辺の市では、避難所には看板などの設置は既になされております。市が緊急時に避難勧告等を出した場合、避難所に誰もがすぐに避難できるように表示か看板を常時設置しておく考えはないか。

二、(1)市長は就任当初より、市民の間所得は200万円程度であるため、産業の育成、振興により雇用を拡大し、市民所得の向上に繋がる施策を実施すると言われていました。現在の市民所得の状況をお尋ねします。

(2)答弁では5年前とさほど変化はないようですが、所得向上に繋がる優先的な施策として何があるのか。

(3)21年度から22年度に繰り越した予算が約15億8千万円あるが、繰り越しをしても早期の取り組みがなされていない状況では、市民所得の向上には繋がらないのではないかと。

一、市が指定している緊急避難所看板の設置について
二、市民の所得向上施策について

答 弁

一、防災計画には載せていますが、どこに避難していいのかわ周知がなされていませんので、看板の設置が必要と考えています。136力所すべてというのはなかなか難しいので、一番使うだろうという所から順次表示をして、住民皆様にお知らせしていく必要があると考えています。

二、(1)平成18年度が204万円、平成19年度が203万5千円です。

(2)農業においては母うし増頭事業や、水稲とか野菜の育苗施設の建設を行っています。水産業においてはマグロの養殖事業、マハタの養殖の実証試験に取り組み、漁船漁業は種苗放流等に力を注いでいます。商業については商品券を発行しました。それから、新たな産業として体験型旅行事業に積極的に取り組んでいます。

(3)経済危機対策臨時交付金、きめ細かな臨時交付金というものも、一日でも早く事業に着手して、交付金の目的である経済対策といえますが、地域の活性化、所得の向上に結びつけなければならぬというのは御指摘のとおりで、そのような形で予算の執行に努めてまいりたい。

一般質問

高 橋
議 員

質 問

一、(1)昨秋に、今福、御厨小学校では子ども達自身が地域を調べ、児童生徒を狙った犯罪が起こりやすい場所を地図に作り上げるというプロジェクトに取り組んだ。犯罪に巻き込まれないための環境づくりと心構えづくりには有効なものである。他の小学校でも取り組んだらどうか。

(2)危険箇所情報は、防犯関係の組織とも共有すべきと考えるがどうか。

二、(1)松浦火力発電所建設に伴う白浜五地区の振興策については、30年前から協議がなされてきたが、未だ調っていない。その間、海浜公園、温水プール、運動場など計画が浮かんで消え、今般は温泉施設案が断念されたとのことである。長年取り組んできた友広市長には、ぜひ地域住民の思いをくんだ振興策を策定し、実施までこぎ着けて欲しいが、どう考えるか。

(2)具体策が決まるまで、基金の果実運用を地域のためにしたらどうか。

一、安全・安心なまちづくりのために「地域安全マップづくり」について
二、白浜五地区地域振興基金の活用について

答 弁

一、(1)今回2校が実施して本当に有意義な取り組みであるということが実証されましたので、今後県と連絡をとりながら、あわせて今回の成果を他の学校にも知らせながら、実施を呼びかけてまいりたい。

(2)今年の防犯協会総会の折に、学校関係者の方も構成メンバーになって、学校関係、子ども達の声が反映されるようなメンバー構成で来年度から地域の防犯体制を強化していこうという議論がされたところです。

二、(1)白浜五地区地域振興基金条例に基づく規則の中で、新たに対象事業の間口を広げましたので、そういうところをもつて、今後、協議をしていきたいと思っています。私どもも提案し、また地元からも提案を頂いて、せつかく4月からこういう形での取り組みをすることといたしておりますので、この機会が最後の機会だと、そういう認識のもとに積極的に協議を進めてまいりたい。

(2)基金の活用については、地元の御意向等をお伺いしながら、案ができれば上りましたら議会にも御相談する場面があらうと思っています。

一般質問

白石
議員

一、企業発展と地域振興について
二、松浦市史、鷹島町郷土誌、福島町郷土誌について

質問

一、(1)本市にはどんな企業・事業所があるのか。それらをどのような見方をしているのか。(2)本市の企業・事業所は、他の地域の企業にはまねできない特異な技術力、生産物がある。自然環境にも恵まれ、風光明媚な安全で安心して暮らせる地域だと思いが、どのように見ているのか。(3)親和銀行御厨支店が閉店された。開業90年間も御厨、星鹿町の皆さんの金融機関としてお金を扱ってきた。どのようにこれに対処されたのか。支店閉鎖が地域に与える影響について、銀行と話をされたのか。(4)調川のAコープが店を閉めることで、市民の暮らしに大変影響がでている。何か手当てをしてあるのか。(5)企業・事業所が大事に至らないうちに情報の収集をして、支援が必要ではないのか。

二、(1)鷹島町郷土誌、旧松浦市史、福島町郷土誌は、編纂から30年、35年を経過している。記録されていない期間を一日も早く補完しなければならない。市長の考えを伺います。(2)担当される教育長の新市の郷土史編纂の方針について伺います。

答弁

一、(1)炭鉱閉山後、繊維産業、機械製造業などに、最近では水産物の卸売業、水産加工、自動車関連、輸送機械、またエネルギー関連にも進出頂いています。円高差益に苦しんでいるという声をよく耳にいたします。(2)経済的な豊かさということからしますと、まだまだ頑張らなければならぬ地域だと認識しています。(3)存続をお願いしましたが、銀行の方針として決定しているということ、住民の方々に御不便を来さないように対応を要望したところです。(4)買い物弱者に対する支援事業の詰めを現在関係者で行っています。(5)中小企業経営緊急対策安定化資金については、積極的にPRをしていますけれども、今後の相談に積極的に応じてまいりたい。

二、(1)福島町郷土誌が平成23年度に刊行予定です。その後、検討していかなければならないと思っています。(2)松浦市全体の郷土史はどうあるべきかについて、各地域の学識経験者の皆様等に検討して頂くことを考えております。その中から方向性を見つけてまいりたい。

一般質問

下久保
議員

一、今福地区内の松浦鉄道に架かる跨線橋について
二、松浦東高開校後の跡地活用問題について

質問

一、この施設については、建設から80年弱が経過して老朽化が進み、使用できなくなっている。地元住民からは架け替えの要望等があり、協議がなされてきたが進まない。

(1)この施設が建設された経緯についてと、市が移管を受けたのはいつの時点か伺う。

(2)里道の機能維持を市が契約や手続きもなく破棄するのか。建設の経緯からすると、当然行政の責任はあるものと考えて。また、災害時、避難場所に指定された場所に行くためにも非常に重要な施設だ。総合的な判断を市長に求める。

答弁

一、(1)昭和8年に旧国鉄が延伸された折に、今福神社へ通じる里道を掘り切って鉄道を敷設し、機能補償として跨線橋を建設したと認識しています。譲与を受けたのは、法定外公共物として平成17年4月1日です。(2)片内はもとより、県、顧問弁護士、あるいは他の弁護士にも御意見を聞きながら、今日まで対応に努めてきましたが、利用を考えた場合、一般の跨線橋ではなくて、参道という認識に立たざるを得なかったことから、行政としてはやりたくてもやれない事案であるという結論に至ったことについて、ぜひとも御理解頂きたい。

二、県において当然、積極的に関わって頂かなければならない課題だと考えますので、県営の工業団地が一番、私としては可能性の高い方策ではないかということから、引き続き県へ要望していきます。市が対応することになりますと、中学校移転、体験型での活用ということの可能性も残っておるわけです。今後、県の動き、対応等を見ながら、市としてどうするのかも決めていかなければならないと思っています。

一般質問



立 鈴
議 員

- 一、有害鳥獣対策と人里・里山再生について
二、借景を生かした海岸沿線の景観対策のその後について

質問

一、イノシシの被害が年々増大する中、農業収益と農業意欲は著しく減少し深刻な問題に拡大している。被害対策には、草払いをして隠れ場所を除去することが有効だと指導されるが、その指導は的を射ていない。背丈の高い雑草を除草した直後に、驚くほど地形が変わり利用不可能なまでに被害を受けた。それが現実だからである。捕獲対策を行いつつ、人里近くの荒廃竹林の拡大を防ぎ、豊かな雑木林による里山づくりを積極的に行うことでしか効果は見込めない。従来の対応では減少どころか年々増加していくが、どうお考えか。

二、松浦市には、素晴らしい海岸沿線が数多く点在し、夕日に染まる松浦湾は息をのむほどの絶景である。海に沿って走る列車からの眺めも、道路からの車窓の景観も心を癒す天然借景である。四季折々の多くの花木の中を車が走り、列車がスローで走り抜けられる観光スポットにしてはどうか。今、沿線は荒廃樹木や竹林で景観の価値は著しく損なわれている。景観を再生すべきと思うが、どうお考えか。

答弁

一、イノシシ対策には、これまでも電気牧柵やワイヤーメッシュなどによる防御対策と捕獲に取り組んでおりますが、被害は拡大している現状にあります。

有害鳥獣対策には、これまでの防御や捕獲と併せて、動物が自分たちの森で暮らせるように、人とのすみ分けができる環境づくりが必要です。このすみ分けには、クヌギやナラなど実のなる木を植栽し、雑木林の範囲を広げていく里山対策に取り組んでいく必要があると考えます。

二、市内の素晴らしい海岸線をどう生かすかということになるかと思えます。休憩場所、あるいはドライブコース、あるいは綺麗な夕日の沈む写真を撮るスポットの整備など観光振興のための整備を検討する必要があると考えます。

観光スポットとしてどう整備を進めていけばよいか、県やMR等の関係機関と協議を行いながら目標を定めて、具体的な実施に向けた対応を進めて行きたい。

一般質問



江 安
議 員

- 一、住宅リフォーム助成制度の創設について
二、中央診療所の存続について

質問

一、「不景気が続いて減った仕事量が元に戻らない。生活がきつくて先行きの見通しも立たない。貯金はもちろん、生命保険を取り崩して生活費に回している。何とかならないだろうか」という声が市内の建設業の方から寄せられています。市は、地域活性化、緊急経済対策として住宅リフォーム助成制度を創設して仕事を起こし、市内でお金が回るようにする、このような考えはありませんか。

二、「頼りの中央診療所の廃止は困ります」、「市民のためにぜひ公立で存続を」、「市民の声をもっと聞いてもらいたい」などの声が多く寄せられています。

(1)中央診療所の役割は「市民の健康を守る」と以前答弁があったが、現在もその考えに変わりはないですか。

(2)市民の声をどう聞いてきましたか。

(3)診療所の職員は、患者様に何と説明すればよいのか不安で仕事に集中できずにいます。職員の声を直接聞くべきではないですか。

(4)住民福祉の増進を図る観点から、診療所経営の説明責任をどう果たされますか。

答弁

一、リフォーム制度については、大変効果があるかと考えられます。全国的にも取り組まれておりますので他市の状況等を参考に、どのような方法が効果的なのか今後検討してまいります。

二、(1)市民の健康を守っていききたい、守り続けたいという気持ちは変わっておりません。市民の健康を守るということについては、今後市内の医療機関との連携や行政でできる健康づくりのための取り組みを行ってまいります。

(2)これまでも議会をはじめ市民の皆様方からいろいろご意見を頂いたところでありますし、そのご意見をお伺いしながら今日まで取り組んできた経緯があります。

(3)時期をとらえて職員組合と協議をしていきたいと考えています。

(4)行政をあずかる者として、住民福祉の向上ということが最も重要だと思っております。運営を断念したことについては、関係の皆様方と協議の場を設け、説明を十分しながらご理解を頂けるよう今後取り組んでまいります。

一般質問



武 辺
議 員

一、郷土芸能としての御厨蛇踊りに
対する認識について
二、松浦市立図書館の利活用につい
て

質 問

一、御厨蛇踊り保存会は県北の代表として「全国豊かな海づくり大会」、「献血運動推進全国大会」等、数々のイベントに参加し華々しい実績を上げています。そうした中、活動支援に関する陳情の回答書で「助成金額の増額について関係機関と協議します」と明記されていますが、どんな関係機関とどのような協議をされましたか。また、蛇の保管場所についても「市当局の都合で保管場所を取り壊すなどの予定が出てくる場合は、市と保存会の協力のもと新たな保管場所を探していきたい」と回答されています。現在の場所は取り壊しの予定となっていますが、新たな保管場所の見通しはありますか。

二、活字、読書離れが危惧される昨今の状況を踏まえて制定された国民読書年の本年、松浦市ではどのような取り組みをされましたか。

より良い図書館運営を考えた時、協議会の存在意義がかなりのウェイトを占めると思いますが、図書館運営協議会がないのはなぜですか。

来年は図書館開館10周年です。記念イベントは考えていますか。

答 弁

一、助成金額については、松浦市観光協会、水軍まつり実行委員会と協議を行いました。増額には至っていません。今後、保存会の皆様方と意見交換をして、実際に出演等として頂くための支援と、松浦の伝統芸能を構築するための支援に取り組んでまいります。また、保管場所については、市が責任を持って、今後検討を進めます。

二、国民読書年ということで、特に取り組んでいることはありませんが、こういうときをとらえて、取り組みを検討してまいります。

図書館運営協議会については、合併時に議論されたようですが、結論としては、条例に盛り込まれていません。図書館の運営に関して、外部の方の意見を参考にすることについては非常に重要であると考えていますので、平成23年度の早い時期に、図書館運営協議会の設置ができるよう検討してまいります。

記念イベントについては、生涯学習センターの開設記念として考えていきたいと思っています。

一般質問



吉 原
議 員

一、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が本市に及ぼす影響とその対策について
二、西九州道伊万里松浦道路の進捗状況と供用開始の目途について

質 問

一、(1)TPPに日本が参加し、農産物関税を全面的に撤廃した場合、本市の農業に対してどのような影響が予測されるか。

(2)本市水産業への影響は。

(3)TPP参加が現実のものになった場合、松浦の農業は壊滅し、農業で生計が立たなくなれば当然農地も耕作放棄地となり、農道、水路、山林の手入れもできず荒れ放題となる。農村が持つ治山治水、環境保全のすべてを行政がやることになり、市財政を大きく圧迫することになる。市農政の大黒柱、母うし1000頭増頭事業への影響と対策をどうするのか。

(4)九州、全国市長会でしっかりと反対意見を出すべきと考える。

二、西九州道は、松浦市発展の鍵を握っている最重要課題と考えるが、市長がこの道路にかける熱い思い、そして用地取得に対する心からの熱意、姿勢をお示し願いたい。

他に、地デジ難視地区・戸の現状とその対策、消防職員人事に対する市長の理念、マムシ咬傷の対応策、高温障害による水稲品質低下対策についても質問しました。

答 弁

一、(1)長崎県が試算した影響額を基礎として、本市の平成19年農業産出額に当てはめてみますと、38億8千万円の農業生産額から21億1千万円減少すると試算しています。

(2)長崎県によると、調川港及び長崎漁港の用途別出荷の試算で、アジ、サバ合わせて漁業生産額が約87億円の減少が見込まれており、本市においては、調川港の相当額に影響があると考えています。

(3)肉用牛については、9億1千万円の産出額が3億3千万円程になると試算されていることから、1000頭増頭の計画達成が大変厳しくなるうかと思いますが、今後、農家が継続的に生産、販売ができる農業政策を確立して頂くよう、国に働きかけていく必要があると思っています。

(4)積極的な関わりを持って対応してまいります。

二、本市にとって、産業、経済、福祉、医療、文化といったあらゆる面で大きな効果があることから、必要などころには足を運んで、一日も早い開通に誠心誠意全力で取り組んでまいります。

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上、1人当たりの質問時間は70分間以内（答弁、関連質問を含む。）という取り決めになっています。

今定例会では、12月6日、7日及び9日の3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所 議会事務局
- 市役所 各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

常任委員会の審査概要

総務委員会

★議案第154号 平成22年度松浦市一般会計補正予算（第8号）

11月に行われた臨時議会において、

市議会議員の議員報酬等、市長及び副市長の給与、市職員の給与、それぞれの条例の一部改正が行われたことを受け、今定例会において人件費の補正措置がなされました。

その結果、議員や市長等特別職分で131万5千円、一般職員分で3千317万4千円、合計3千448万9千円の減額がなされ、平成22年度分から適用されます。

★議案第166号 松浦市過疎地域自立促進計画の策定について

平成22年3月末で期限が切れる過疎法については、延長を求める強い要望もあつて、同月国会で議員立法により改正され、特別措置を拡充して6年間延長されました。今回、過疎地域対象要件が見直され、松浦市全体が同法の対象団体となったことよつて、財政上有利な政策を展開することができまふ。

- ※①償還払い方式：医療機関に一旦支払つた後、本人が市に申請し、市が本人に助成額を支給するもの。
- ※②現物給付方式：医療機関が本人に代わつて市に請求し、市が医療機関に助成額相当分を支給するもの。

文教厚生委員会

★議案第144号 松浦市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

今回の一部改正については、乳幼児に対する医療費助成をこれまでの償還払い方式（※①）から現物給付方式（※②）に改めるものであります。子育て支援対策として福祉の増進に寄与するものと認め、原案のとおり可決しました。

産業経済委員会

★議案第154号 平成22年度松浦市一般会計補正予算（第8号）

◇本委員会所管の主な補正内容

▽漁協経営基盤安定対策補助金

栽培センターの建設中止に伴う市の負担額の減少分と、伊万里湾栽培漁業推進基金の出捐金の折半分を考慮し、補助金1億2千万円を2力年に分けて交付するものです。

★請願第3号 選択的夫婦別姓制度等を盛り込んだ民法改正反対の意見書提出に関する請願について

本請願については、国が進めようとしている選択的夫婦別姓制度等の導入に対して、国民的な同意を得ないままに民法を改正することに反対する趣旨のものです。平成22年9月定例会において付託を受け、継続審査となつていましたが、去る10月25日、11月24日及び12月13日に委員会を開催し、昨今の国民意識や改正の問題点等について慎重審査を行った結果、国民の議論を尽くさないまま拙速な法改正はすべきではないとの結論に至り、願意妥当と認め採択しました。

▽航路運航費等補助金

26,704千円

鷹島汽船への補助金で、前年度の2・6倍の額であり、次年度は更に増える恐れがあります。殿ノ浦、今福航路のフェリーの小型化を急ぎ、経営の効率化を求めるべきと意見しました。

▽国民宿舎事業備品購入費

47,350千円

つばき荘の運営については、指定管理料を出さない前提の中、建設事業費に県の産炭基金を財源として活用できるようにしたこと、つばき荘のスムーズな立ち上げを支援するため、施設用備品購入の予算が計上されました。

いずれの経費も妥当と認め、原案のとおり可決しました。

傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役所5階の傍聴席入口にある傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入して入場してください。

傍聴席での飲食・喫煙は禁止されています。また、録音・写真撮影・ビデオ撮影等は事前に許可を必要とします。

特別委員会の動き

企業別委員会对策

平成22年9月16日に委員会を開催し、先に実施した市内企業の訪問調査に関する総括を行うとともに、県下における企業誘致の取り組み状況等の行政調査を目的に、去る10月22日に長崎県産業労働部企業立地課を訪問し、企業立地の現状と誘致に取り組むための施策のあり方や課題などについて理解を深めたところであります。

本委員会としては、これらの調査結果を生かし、引き続き市内企業経営者との意見交換や情報収集を通して、更なる企業の誘致と育成に向けた施策の研究に取り組むこととしております。

道路網整備促進特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会では、10月18日、国土交通省九州地方整備局長に対して、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の早期完成及び松浦市・佐々町間の早期事業化の要望を行いました。

対応された野口副局長は、「道路予算が大変厳しい状況にあるが、限られた予算を効率的かつ効果的に執行しながら、早期完成に向けて努力していきたい」とのことでした。

続いて、11月17日、18日に三市議会の議長、正副委員長が参加し、民主党陳情・要請対応本部、国土交通大臣及び長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、西九州自動車道の早期完成並びに道路整備の安定的な財源確保について要望を行いました。

民主党陳情・要請対応本部の大久保副本部長、池口国土交通副大臣からは、「西九州自動車道については佐賀、長崎県連から話を受けており、本路線の重要性は認識しているの



九州地方整備局への要望活動

一緒に頑張って努力していきたい。伊万里道路、伊万里松浦道路については、一挙にはできないが、順次整備の方向に向かっている。松浦市から佐々町間の17キロについては、一歩前に進めるような調査をしている。最終的には工事費がどういう形になるかということになるかと思うが、皆さんの協力を頂きながら順次整備を進めていきたい」との回答を頂いたところです。

伊万里・平戸・松浦市議会西九州自動車道建設促進協議会としても、予算の安定的確保と特に松浦市から佐々町間の早期事業化を図って頂くよう強く要望いたしました。



常任委員会の行政調査

総務委員会

11月9日から11月11日までの3日間において、北海道滝川市とニセコ町で視察研修を行いました。

滝川市では、多様化する市民ニーズや新たな地域課題に対応していくために、市民自ら公益的なサービスを展開する「市民力」によるまちづくりを推進されていました。具体策の「市民力推進プロジェクト事業」は、規則等での縛りを緩め補助金が交付されやすいように取り組まれています。職員が市民の中に入り一緒に行動、関係課がバックアップし、予算の範囲内で事業を随時受け付けていました。本市が昨年より取り組む「元気なまちづくり活動支援事業」の先進事業事例でありました。

また、滝川市では「ウェルカム・プロジェクト」として、他の関係機関と連携して人口減少の歯止めと、移住定住促進の事業に取り組まれていました。累計実績では、完全移住8組17人、短期37組79人となっています。21年度までの5年間で980万円の予算措置がなされましたが、費用

対効果だけではなく、口コミで広がる宣伝効果を加味すると、素晴らしいチャレンジだと考えます。

ニセコ町は2001年全国に先駆け「まちづくり基本条例」を制定しました。この条例は「住むことが誇りに思えるまちづくり」を目指した取り組みや実践を例規で裏付け、情報の共有・住民参加を2大原則とし、町民の権利を明示し保護する点が従来の町民憲章とは性質を異にします。情報共有として分かりやすい予算説明書を無料配布。住民参加では各種委員の公募、パブリックコメント等が充実。また、職員研修にも力を入れまちづくり専門スタッフの育成に努めており、大変参考になりました。



ニセコ町

産業経済委員会

本委員会は、10月6日から10月8日までの3日間の行程で、千葉県勝浦市の「朝市活性化事業」など、千葉県佐倉市の「産業振興条例」について、また、東京都では築地市場の行政調査を行いました。

勝浦市で開催されている勝浦朝市は、400年余りの歴史を誇り、岐阜の高山、石川の輪島と並んで日本三大朝市と称されています。地元の豊富な産物が集まるため、観光名所として賑わっていますが、伝統にあぐらをかくことなく、全国朝市祭りなどを各種イベントを開催し、年間を通しての観光客の誘致に努めています。

また、勝浦市は、カツオ・イセエビの水揚げ量が全国トップクラスです。水産物のブランド化を図り、漁業経営の安定化を目指しています。また、婦人グループの水産加工食品の製造、販売について支援策を実施しています。

本市においても、既存の観光資源の活用等により、市民の観光意識の高揚を図ること、また、農水産業、商工業、観光との連携を強化し、農水産物のブランド化や販路の拡大に向けた取り組みを支援することが重要であると感じました。



勝浦朝市

佐倉市産業振興条例は、佐倉市が目指す産業のあり方や、より良く発展させるための施策の推進、地域活性化に向けた協働体制の整備など、産業振興を進めるうえでの基本的な枠組みを定めたものです。これにより行政のみならず事業者や市民が果たすべき役割について、認識を共有する大きな利点があります。22年4月にスタートしたばかりであり、今後の推移に注目したいと思います。

築地市場の視察当日は、本市から出荷されたマグロ、クルマエビのセリが行われていました。本市の水産物の評価は高いが、更に向上を目指し西日本魚市(株)、漁協等との連携を図り、水産行政を進めるべきと感じました。



9月

16日◇全員協議会

◇企業対策特別委員会

22日◇文教厚生委員会

◇松浦地区火葬場組合議会臨時会

10月

4日◇西九州自動車道建設促進期成

会要望活動 (長崎市)

6日～8日

◇産業経済委員会行政調査

(千葉県勝浦市、佐倉市、

東京都築地市場

12日◇決算審査特別委員会

13日◇決算審査特別委員会

◇玄海原子力発電所に係る安全

連絡会

(佐賀県玄海町、松浦市)

14日◇決算審査特別委員会

18日◇伊万里・平戸・松浦市議会西

九州自動車道建設促進協議会

要望活動 (福岡市)

19日◇佐賀県神埼市議会視察来市

21日◇市議会だより編集委員会

◇茨城県鹿嶋市議会視察来市

22日◇企業対策特別委員会による県

企業立地課訪問 (長崎市)

25日◇市議会臨時会

◇全員協議会

◇文教厚生委員会

27日◇産業経済委員会によるながさ

き牛づくり振興大会参加

(雲仙市)

◇九州市議会議長会第3回理事会

(佐賀県武雄市)

28日◇決算審査特別委員会

11月

1日◇長崎県離島振興市町村議会議

長会・長崎県町村議会議長会

合同要望活動並びに正副議長

合同研修会 (長崎市)

4日◇決算審査特別委員会

5日◇決算審査特別委員会

8日◇決算審査特別委員会

9日～11日

◇総務委員会行政調査

(北海道滝川市、ニセコ町)

10日◇福井県坂井市議会視察来市

12日◇各派代表者会

15日◇各派代表者会

16日◇離島振興市町村議会議長会全

国大会 (東京都)

17日◇長崎県離島振興市町村議会議

長会・長崎県町村議会議長会

合同中央要望活動 (東京都)

17日・18日

◇伊万里・平戸・松浦市議会西

九州自動車道建設促進協議会

中央要望活動 (東京都)

24日◇市議会臨時会

◇文教厚生委員会

25日◇熊本県上天草市議会視察来市

30日◇議会運営委員会

12月

3日～16日

◇第4回市議会定例会

22日◇棕呂路・板山トンネル建設促

進期成会要望活動

(佐世保市・長崎市)

1月

12日～14日

◇長崎県市議会議長会行政視察

(京都府亀岡市、石川県

金沢市、福井県敦賀市)

18日◇道路網整備促進特別委員会

◇市議会だより編集委員会

19日～21日

◇文教厚生委員会行政調査

(埼玉県春日部市、

長野県佐久市)

24日◇長崎県市議会議長会・長崎県

町村議会議長会合同研修会

25日◇市議会臨時会

◇全員協議会

◇企業対策特別委員会

26日◇宮城県議会視察来市

27日

◇九州市議会議長会第4回理事会

(大分県別府市)

10月臨時会

10月25日開催の臨時会では、鷹島保育所の指定管理者を指定する議案など7議案が上程され、いずれも原案可決いたしました。

11月臨時会

11月24日開催の臨時会では、国家公務員の給与改定に準じ議員、市長及び副市長(教育長に準用)の期末手当、並びに職員の給与を引下げる条例改正案など4議案が上程され、いずれも原案可決いたしました。

また、急施を要する事件として、「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加への慎重な対応を求める意見書」が議員提案され、可決いたしました。

計報

去る平成22年12月21日、竹本伸太郎議員が逝去されました。

故竹本議員は、平成15年に初当選以来、3期7年余の長きにわたり議員の職責を担われ、特に、今任期におかれては産業経済委員長として市政の発展に尽くしてこられました。

ここに、ご生前のご功績をたたえ、心から冥福をお祈りいたします。

議案等の審議結果

条 例		予 算	
○外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員 の処遇等に関する条例の一部改正について	原案可決	◎平成22年度松浦市一般会計補正予算 (第8号)	原案可決
○松浦市手数料条例の一部改正について	原案可決	□平成22年度松浦市青島診療所事業特別 会計補正予算(第2号)	原案可決
○松浦市火災予防条例の一部改正について	原案可決	□平成22年度松浦市後期高齢者医療特別 会計補正予算(第2号)	原案可決
□松浦市子ども医療費助成に関する条例の 一部改正について	原案可決	□平成22年度松浦市介護保険特別会計補 正予算(第4号)	原案可決
◇松浦市準用河川占用料等徴収条例の制定 について	原案可決	□平成22年度松浦市福島診療所事業特別 会計補正予算(第3号)	原案可決
◇松浦市道路占用料徴収条例の一部改正に ついて	原案可決	□平成22年度松浦市鷹島診療所事業特別 会計補正予算(第4号)	原案可決
◇松浦市法定外公共物管理条例の一部改正 について	原案可決	◇平成22年度松浦市簡易水道事業特別会 計補正予算(第4号)	原案可決
◇松浦市公営住宅条例の一部改正について	原案可決	◇平成22年度松浦市下水道事業特別会計 補正予算(第3号)	原案可決
◇松浦市特定公共賃貸住宅条例の一部改正 について	原案可決	◇平成22年度松浦市水道事業会計補正予 算(第4号)	原案可決
◇松浦市定住促進住宅条例の一部改正につ いて	原案可決	◇平成22年度松浦市工業用水道事業会計 補正予算(第4号)	原案可決
◇松浦市水道条例の一部改正について	原案可決	◇平成22年度松浦市下水道事業会計補正 予算(第4号)	原案可決
◇松浦市簡易水道条例の一部改正について	原案可決	◇平成22年度松浦市交通事業会計補正予 算(第3号)	原案可決
そ の 他		議員提出議案	
※松浦市立御厨中学校屋内運動場改築工事 請負契約の締結について	原案可決	※選択的夫婦別姓制度等を盛り込んだ民法 改正に反対する意見書の提出について	原案可決
※東部交流センター(仮称)新築工事 建築工事請負契約の締結について	原案可決	決算認定(継続審査案件)	
○松浦市過疎地域自立促進計画の策定につ いて	原案可決	▼平成21年度松浦市各会計の決算認定に ついて(一般会計及び14特別会計)	認 定
○長崎県市町村総合事務組合の規約変更 について	原案可決	同 意 案	
◇損害賠償額の決定について(第167号)	原案可決	※松浦市教育委員会委員の任命について (志佐町里免 松尾 紘 氏)	同 意
◇損害賠償額の決定について(第168号)	原案可決	(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。 ◎…各常任委員会(総務・文教厚生・産業経済)へ分割付託 ※…委員会付託を省略し全員審査 ○…総務委員会 □…文教厚生委員会 ◇…産業経済委員会 ▼…決算審査特別委員会	
請 願 (継続審査案件)			
□選択的夫婦別姓制度等を盛り込んだ民法改 正反対の意見書提出に関する請願について	採 択		

お問い合わせは
議会事務局へどうぞ
TEL (0959) 72-0264

松浦市公式ホームページアドレス
<http://www.city-matsuura.jp>

議会はインターネット中継でも
ご覧いただけます。
松浦市公式ホームページを通じ
て生放送しますので、ご自宅の
パソコンから視聴が可能です。
また、編集が終わりましたら、
録画映像の配信も行います。

次の定例市議会は
2月25日開会予定です。



議会の傍聴に
お出かけください。